



# 元気な森づくり



「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議  
事務局：宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林政策課内  
連絡先：028-623-3294

H20.11

No.9

## 県民会議 木づかい推進部会の活動についてご紹介します

### 「木づかい」って何？

とちぎの元気な森を次代に引き継ぐためには、森林整備と併せて県産材の利用を推進し、「伐って、使って、また植えて育てる」という森林資源利用のサイクルを円滑に循環させることが大切です。

このことを理解し、暮らしの中で積極的に県産材を利用していくことが「木づかい」活動です。木づかい推進部会では、県民の木づかい活動の推進を図るため様々な活動に取り組んでおり、これまでの活動状況について御紹介します。

### 「県民の日記念行事」における木工教室

去る6月7日（土）、8日（日）に開催された「栃木県県民の日記念行事」（会場：壬生町 とちぎわんぱく公園）において、木工教室を行いました。

この活動の目的は、「木を使う」体験をとおして木の良さを理解していただくこと、そして、身の回りの物への木の使い方提案し、暮らしの中での木材の利用を促進すること、です。

このため、日ごろ家庭の中で利用できるものを工作していただくこととし、今回は「六角鉢カバー」と「折りたたみイス」を各100セット（2日間で計200セット）用意しました。



好天に恵まれ、イベント会場は大勢の来場者で賑わいました。木工教室も、家族連れや仲間同士など、2日間で計200組の皆さんに「木を使う」体験を楽しんでいただきました。

このような木工教室への参加などを機会として、暮らしの中に積極的に木製品を取り入れていただければと思います。





鉢カバーは、釘打ちがたくさんあって大変。お子さんも手伝って、一家で楽しんでいりました。



### 「第1回子どもたちの木工工作コンクール」開催

小中学生の子どもたちを対象として、木工工作の活動をとおりて豊かな創造力と自由な感性を育むとともに、木の良さの理解促進を図ることを目的に、木工工作のコンクールを開催しました。

開催期間は9月19日（金）から9月27日（土）で、19日に審査会、20日から27日に展示会、そして展示会の最終日27日には表彰式を行いました（会場：宇都宮市 わくわくグランディ科学ランド）。

19日の審査会では、応募総数計258点について、「小学校低学年の部（1～4年生）」、「高学年の部（5、6年生）」、「中学校の部」の3部門ごとに審査し、計26点の入賞作品を決定しました。

子どもたちの作品は、木の色合いや木目、枝の形など、材料の特性が大変上手に活かされており、子どもたちのアイデアには、審査員の方々も感心させられていたようでした。

また、子どもたちにとっては、考えながら作る楽しさを学んだり木の良さを自然と感ずることができた、貴重な経験となったことと思います。

入賞した26作品は下記アドレスにて御紹介しておりますので、ぜひ御覧ください。

[http://www.pref.tochigi.lg.jp/work/ringyou/kensanzai/04\\_mokkou\\_con.html](http://www.pref.tochigi.lg.jp/work/ringyou/kensanzai/04_mokkou_con.html)  
（県HPトップ「テーマから探す」> 仕事・産業 > 林業 > 県産材 > 第1回子どもたちの木工工作コンクール参加者募集）

なお、上位入賞6作品は、平成21年3月開催予定の「全国児童生徒木工工作コンクール」（主催：日本木材青壮年団体連合会、開催地：石川県）に出品しますので、こちらの結果も楽しみにお待ちください。



栃木県知事賞（小学校低学年の部）  
「森の遊園地」  
那須塩原市立高林小学校4年 室井菜那さん



延べ約2千人の方が展示会に来場しました。



展示会では、森づくりの大切さなどをPRするパネルの展示を併せて行いました。



審査状況

### 「木づかいスタッフ」を御紹介します

「木づかいスタッフ」とは、小中学校における木工工作学習をはじめ、市町村や自治会などが主催するイベントでの木工教室など、県民の木づかい活動をサポートし、木工工作などの「木を使う活動」を指導し、併せて木の良さや森づくりの大切さについて県民に広く伝えるボランティアです。

この木づかいスタッフを養成する講座を、8月26日（矢板市 栃木県県民の森）から10月1日（茂木町 芳賀地区森林組合）まで、県内5会場において開催し、67名のスタッフを登録しました。



「木の特性」や「木を使うことの大切さ」などの講義



工作実習



講師による道具の使い方の実演。見つめる受講者の目は真剣です。

小中学校の学習活動や、市町村や自治会などが主催するイベントや体験講座などにおいて、ぜひ木づかいスタッフを御活用ください。

同スタッフの活動により、多くの地域で木づかい活動の取り組みが始まり、県全体へと広がることを期待したいと思います。

木づかいスタッフに関するお問い合わせ  
栃木県環境森林部林業振興課

TEL 028(623)3277



木づかいスタッフの活動状況（イベントにおける木工教室の指導）

## 各部会が開催されました

9月26日(金)に森づくり推進部会、9月29日(月)に普及・啓発部会、10月17日(金)に木づかい推進部会が開催され、今年度の活動内容や来年度の活動についての意見交換が行われました。今回は木づかい部会の活動状況についてご紹介しましたが、他の部会の活動状況等についても次号以降でお知らせしていきます。

## 「とちぎの元気な森づくり基金」にご寄附をいただきました

前号でご紹介した社団法人 栃木県宅地建物取引業協会に続き、9月には東京都にお住まいの方から「ふるさと“とちぎ”応援寄附金」によるご寄附をいただいたほか、大田原信用金庫からもご寄附をいただきました。大田原信用金庫からのご寄附については次号で詳しくご報告しますが、ここでは「ふるさと“とちぎ”応援寄附金」について簡単にご説明します。



皆さまも既にご存じかと思いますが、本年1月1日から、個人の方が地方公共団体に対して寄附を行った場合、5千円を超える部分について、一定限度まで住民税と所得税が控除される、いわゆるふるさと納税制度が始まりました。栃木県では、「ふるさと“とちぎ”応援寄附金」として、用途を知事にお任せするメニューAと、3つの基金(とちぎの元気な森づくり基金、地域福祉基金、日光杉並木街道保護基金)の中の内いずれか又は複数を選択して寄附していただくことができるメニューBを用意して、東京栃木県人会など、県外にお住まいの栃木県にゆかりのある方を中心にPRを行っています。

今回は、メニューBのそれぞれの基金にご寄附の申し出をいただいたものです。

「ふるさと“とちぎ”応援寄附金」の詳細については、県HPをご参照ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/life/zeikin/zeikin/furusato.html> (トップページのトピックスのコーナーから御覧いただけます。)

これまでのバックナンバーは県HPで御覧いただけます

「とちぎの元気な森づくりNEWS」のバックナンバーは、本号も含め県ホームページの以下のアドレスからダウンロード可能ですので御利用ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/eco/shinrin/zenpan/1202345320422.html>

(トップ「テーマから探す」> 環境 > 森林・緑化 > 森林全般 > とちぎの元気な森づくりNEWS)